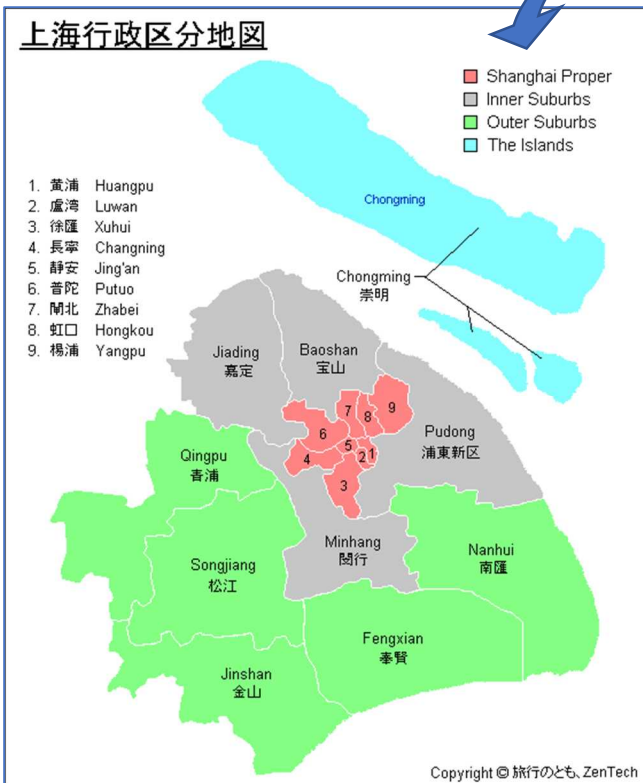


上海市の概況 2022年

もくじ

- (1) 基本データ.....2
- (2) 経済概況.....3
- (3) その他情報.....8
- (4) 上海市指導者の略歴.....11



データは基本的に 2021 年末現在

面積	6340.5 km ² (全土の約 0.06%)
人口	2489.43 万人 戸籍常住人口：1,492.92 万人 外来常住人口：996.51 万人
行政区	16 区
書記	陳吉寧
市長	龔正

<地理・気候>

中国東部の沿海部、いわゆる華東地域の中心に位置し、北の境界は長江、東は東シナ海、南は杭州湾に臨み、西は江蘇省、浙江省と接する。長江の河口南岸にあり、中国の南北の海岸線の中央に位置する港湾都市。長江デルタの沖積平野の一部で、全体に平坦、平均海拔高度は 2.19 メートル。市内で最も高い山（丘陵）は、大金山島で海拔 103 メートル。

河川が市内を縦横に走り、長江支流である蘇州川、川楊川、淀浦川などが河口の黄浦江へと流れ込む。河口部には、中国で第 3 位の面積を持つ崇明島をはじめ、長興島、横沙島があり、釣りやアウトドアレジャーのスポットとしても知られる。

亜熱帯モンスーン気候に属し、四季がはっきりしている。春と秋は短く、冬と夏は長い。沿海部のため、夏は高温・高温で、降雨も多い。2021 年の年間平均気温は 17.9 度、降水量は 1475 ミリでその 6 割以上は 6 月から 9 月に降っている。

<歴史>

上海は別名で「滬」、あるいは「申」という。春秋戦国時代に楚の春申君が上海に封じられたことから「申」と呼ばれるようになり、4～5 世紀の晋の時代には、漁村として記録が残り、当時の竹網の漁具「滬」から名付けられたという。「滬」は、現在の上海市の自動車のナンバープレート表記に用いられ、「申」は同市に本拠地を置くサッカーチーム「上海申花」でも見ることができる。

13 世紀末（元朝）、これまでの華亭県から分かれて、上海県がつくられた。沿海の港湾が整い始めた 16 世紀の半ばには、全国の綿紡織工業の中心地として発展をはじめ、1685 年に清朝が上海に税関を設置し、海外との交易も本格化した。

1978 年に改革開放政策で海外への開放都市として特別区を設置して以降、急激な経済発展を遂げ、1990 年から始まった浦東新区の開発や、外国企業の大規模な進出に

より、東アジア随一の巨大経済都市が誕生した。現在も、中国最大の経済都市としての役割を果たしている。

<文化>

上海は 19 世紀に対外的に開港して以降、西洋の文化や芸術、技術などを取り入れながら急速に発展した。東洋一のモダン都市と呼ばれ、日本でも「オールド上海」という言葉が現在でも使われるように、その東洋と西洋を織り交ぜた独自の空気感は上海文化として現在まで受け継がれている。また、海外からの交易が盛んなことを背景に、前衛的な芸術を取り入れる風土も醸成され、アジア屈指の現代アートの発祥地として、上海市民の高い先進性の気風とともに根付いている。

<行政区>

中国で最も小さい省級行政区。16 区で構成されている。その中には 107 の街道（都市内の区割りのこと）、106 の郷鎮がある。

2. 経済概況

項目	数値
域内総生産 GRP	4兆3,215億元（前年比+10.9%） うち第1次産業：99.97億元（前年比-7.2%） 第2次産業：11,449.32億元（前年比+11.6%） 第3次産業：31,665.56億元（前年比+10.7%）
1人当たりGDP	17.36万元（前年比+10.7%）
平均可処分所得	都市部住民：82,429元（前年比+7.8%） 農村部住民：38,521元（前年比+10.3%）
実質外資利用額	225億5,100万ドル（+11.5%）
貨物取扱量	3兆4146億トンキロ ¹ （+4.0%）
旅客輸送量	1,398億9,100人キロ（+3.7%）
観光客	国内 2億9,382万人（+24.5%）
	海外 103.9万人（-24.5%）

¹ 物流用語。トンキロとは、貨物の輸送量を表す単位のこと、貨物の重量（トン数）にそれぞれの貨物の輸送距離（キロメートル）を乗じて算出する。

<交通インフラ>

上海は、人的往来も物流も、その一大ハブとして機能している。2021 年も新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、物流および人流ともに前年比で増加している。

1) 港湾・海運

2021 年の上海市全体の港湾における貨物取扱量は、世界トップクラスの約 7 億 7,600 万トンで、大型コンテナは約 4,700 万 TEU となり 12 年連続で世界一をキープした。その貨物物流の中核となる東アジア最大級の港湾である洋山深水港は、杭州湾東北部から舟山諸島の海域全域を活用して建設した巨大港であり、大型のコンテナふ頭は 16、栈橋ふ頭の全長は 5.6 キロに及ぶ。年間のコンテナ取扱量は、930 万 TEU。

2) 鉄道

上海虹橋駅は、京滬（北京－上海）、滬昆（上海－昆明）の 2 大主要路線が交差する駅であり、そのほか沪宁（上海－寧波）、沪杭（上海－杭州）の発着駅でもある。2021 年の虹橋駅の乗降者数は、5,000 万人を超えている。

市内の地下鉄・軌道路線は、合わせて 19 路線あり、浦東国際空港と市内を結びニアモーターカー（距離は約 35 キロ・8 分間で走行）も運行している。

3) 空港

上海の 2 大空港である、上海浦東、虹橋空港の 2021 年の航空機の発着数は、延べ 57.47 万機（前年比 5.4%増）で、乗降客数は約 6,541 万人（同 6.1%増）。そのうち国内線利用者が 6,373 万人であった。郵便などの貨物輸送量は 436.6 万トン（同 8.5%増）。

浦東空港では、2019 年に大規模な拡張工事を行い、ボーディングブリッジを新たに 90 設置するなどし、2021 年の延べ 3,220 万人の利用者よりもさらに高い運行効率を図ることが期待されている。現在運航しているのは、48 カ国・地域の 251 空港を 59 の外国航空会社と 10 の国内航空会社が結んでいる。

虹橋空港は、現在 66 機分の発着ゲートを備え、21 年の利用客は延べ 3,320 万人。発着数は 23 万余機で、輸送量は約 38 万トン。市中心部から 13 キロという近さと、ハブ駅である虹橋駅の利便性を活かし、今後も増加が見込まれている。

4) 高速道路

上海では、既に一連の高速道路網計画は完了している。2021 年の 1 日平均の高速道路の走行車両数は、135 万台。

主な路線は以下の通り。

- ・京滬高速 G2（北京－上海）
- ・沈海高速 G15（瀋陽－海口）
- ・滬陝高速 G40（上海－西安）
- ・滬蓉高速 G42（上海－成都）
- ・滬渝高速 G50（上海－重慶）
- ・滬昆高速 G60（上海－昆明）
- ・上海绕城高速 G1501（外環道）
- ・上海省級高速路迎賓高速 S1（浦東空港）
- ・滬芦高速 S2（市内－芦潮港）
- ・滬奉高速 S3（浦東－奉賢）
- ・滬金高速 S4（市内－金山区）
- ・滬嘉高速 S5（市内－嘉定区）
- ・滬崇高速 S7（市内－崇明島）
- ・滬常高速 S26（市内－江蘇省常州市）

<経済開発区など>

1) 国家級経済開発区

上海には国家級の経済開発区は7カ所（閔行、虹橋、上海漕河涇新興、上海金橋輸出加工区、上海化学工業、松江、南通）。なお、1978年の中国初の経済特区に指定されたエリアは、ほぼ市内中心地域であり、その後は90年から始まる浦東新区の開発や、2010年代から始まった虹橋地域の再開発計画などに合わせながら、市独自の開発区政策が進められている。近年の国家級に近い開発計画としては、浦東の自由貿易試験区がある。

なお、国家級経済開発区の一覧および概略については、日中経済協会のホームページ（以下のURL）にも最新情報として掲載している。

<https://www.jc-web.or.jp/publics/index/1017/>

2) 国家級高新技术（ハイテク）産業開発区

①紫竹国家高新技术産業開発区

上海閔行区の南東に位置し、計画面積 13 平方キロメートル。大学キャンパス、R&D ベース、紫竹サポートエリアで構成する。2002年6月に設置し、2011年6月に「国家ハイテク産業開発区」となった。

民間経済主導で運営されている中国で唯一の国家ハイテクゾーンで、産官学連携による R&D センターや企業の誘致に取り組む。IC&IT、バイオテック、コンテンツ、航空宇宙、新材料、新エネルギー、健康関連などを重視。

代表的な日本企業

オムロン、ヤマハ、花王、日清食品、京浜電子、東麗

②長江科学城（上海張江高新技術産業開発区）

上海市の東部、市中心から約 12Km に位置する。張江ハイテクパークは 1992 年に国家レベルの重点ハイテク産業開発区として設立。99 年に上海市が「張江に注目」戦略を提唱して以来、張江ハイテクパークの本格的な建設が始まった。2010 年から 12 年までに、康橋工業園、国際医学園区、周浦繁栄工業園をコアエリアに編入し、ハイテクパークの敷地面積は約 80 平方キロメートルまで拡大した。

14 年 12 月、中国（上海）自由貿易試験区のエリア拡大に伴い、張江ハイテクパークに所属した約 37 平方キロメートルのエリアがその一部となった。17 年 7 月、上海市は「張江科学城建設案」を発表。その計画面積は約 95 平方キロメートル。18 年 5 月、上海市が管理体制を変更し、上海市張江科学城建設管理弁公室を発足させた。

既に登記した企業は 1.8 万社余りに上り、情報技術、バイオ医薬などをはじめとする産業クラスターが形成され、数多くのハイテク企業が集まっている。

主な産業として、集積回路産業、ソフトウェア産業、生物医薬産業、文化イノベーション産業、銀行カード産業、光電子産業、医療器械産業、新エネルギー産業がある。

代表的な日本企業

松下電子応用機器、SONY、KYOCERA、DENSO、三共製薬、津村漢方、上海松下電子応用機器、上海米克羅弾簧、上海菱華倉儲服務、上海浦菱儲運、上海第一三共製薬

③上海青浦

上海市が指定する九つの高新産業（新エネルギー、航空 & 宇宙飛行、ハイテク重装備、電子情報、新種エネルギー自動車、海洋開発用装備、新素材、ソフト & 情報サービス、バイオ医薬）。

代表的な日本企業

日立海立汽車部件（上海）有限公司

3) 観光・リゾート開発区

①国家級上海佘山リゾート区

1993 年に定めた佘山国家森林公园をベースに、2020 年 11 月に国が認定したリゾート開発エリア。市内から 30 キロの位置にあり、面積は約 260 平方キロメートル。

公園内の小高い丘にはキリスト教会がそびえたち、内外から訪れる観光客も多い。

また、高級ゴルフリゾートや、ソフィテルホテルをはじめとした高級ホテルも立ち並び、

②上海ディズニーランド開発区

上海浦東新区（上海浦東国際空港から 20 キロ）に 2016 年にオープンした。上海市とウォルトディズニーの合作事業で、開園に合わせて周辺地域にホテルや飲食店が並び開発エリアを設けている。日本企業も数社がランド内にも出店している。

また、近隣には 2020 年には、世界最大規模の屋内型スキー場「ウィンタースター上海銀七星室内滑雪场」がオープンしている。

4) 上海自由貿易試験区

2013 年 9 月に設立。従来の外資三法の適用から外れ、ネガティブリストに基づく投資の受け入れを行う画期的な試みとして注目を集めた（22 年現在では国内に 22 ある）。対象エリアは、上海市浦東新区の外高橋なども含めた市内全域にある。

中国の長江の河口に位置し、エリアにはこれまで「保税區」として取り扱われてきた上海外高橋、上海漕河涇、上海嘉定、上海金橋出口加工区、外高橋保税物流パーク、洋山保税港区と浦東空港総合保税區など 4 つの税関特殊監督管理区域があり、総面積は 28.78 平方キロメートル

22 年からは、クロスボーダー貿易投資に関する外貨管理改革テストも始まった。科学技術型中小・零細企業に対する外貨貸付をサポートしながら、条件を満たす企業を対象に、臨港新区での減税政策が施行され、ビジネス環境の改善やハイテク企業の誘致につながるが見込まれる。

<上海市に本部を置く著名な企業>

・上海汽車集団 (SAIC MOTOR)

第一汽車・東風汽車と並び中国国有三大自動車メーカーの一つ。ドイツのフォルクスワーゲン、アメリカのゼネラルモーターズ等と合併会社を設立。新エネルギー車分野で目覚ましい業績を上げ、2018 年は中国では自動車販売が低迷したにもかかわらず、営業収入は一定の伸びを維持した。

・中国宝武鋼鉄集団

国有の鉄鋼メーカーグループ。2016 年に宝鋼集団と武漢鋼鉄集団が合併し、宝武鋼鉄集団に。宝鋼集団の前身は 1977 年に発足した上海宝山鋼鉄総廠で、新日本製鐵（現：日本製鐵）や川崎製鐵（現：JFE スチール）の技術援助を受けて建設された。

・交通銀行

郵便や電信、交通事業に関する金融取引を行う為に設立された銀行。現在は上海証券取引所や香港証券取引所などに上場する。

・緑地控股集团

上海市政府傘下の国有不動産会社。不動産事業だけではなく、自動車販売事業、建築・建設事業、ホテル事業、エネルギー事業等も行っている。2016年にラオックスと共同で千葉市の複合商業施設「千葉ポートスクエア」を取得。初の対日投資となる。

・上海建工

上海市政府傘下の国有企業で、事業と市場は国内外に展開する。国内では、長江デルタ経済区一体化発展、広東・香港・マカオ大湾区、雄安新区・海南自由貿易港建設など手掛ける。海外では、42の国家・地区の建築工事を請け負う。そのうち36か国は、カンボジア・ネパール・東ティモール・ウズベキスタン等の一帯一路に関係する国家である。手掛けた建設プロジェクトは2100件を超える。

3. その他の情報

<日本の友好都市（姉妹都市）の締結>

	日本の県		締結年月日
1	神奈川県横浜市	上海市	1973年11月30日
2	大阪市	上海市	1974年4月18日
3	大阪府	上海市	1980年11月21日
4	大阪府泉佐野市	上海市徐匯区	1994年10月21日
5	岡山県和気町	上海市嘉定区	1992年10月15日
6	長崎県大村市	上海市閔行区	1993年12月03日
7	大阪府寝屋川市	上海市黄浦区	1994年5月12日

<観光地・名所>（以下写真は文化観光局などから引用）

外灘

上海市中心部、黄浦江西岸に位置するエリアで、19世紀後半～20世紀前半の英国租界地区に建設された当時の西洋式高層建築が立ち並んでいる。新旧の上海を一望できるのが、このエリアのポイント。

豫園

明代に建築された江南庭園様式の代表的な作品の一つ。周辺にひろがる豫園商場は、中国らしい雰囲気溢れ、レストランやお茶、シルク小物、漢方薬、中国楽器、本などの土産物屋が並んでいる。園内の小籠包が有名。

上海ディズニーランド

2016年にオープンした世界で5番目のディズニーランド。日本のディズニーランドの4倍の面積を持ち、アジアでは最大。

東方明珠電子塔

1995年に建てられ高さ467.9mあり、展望フロアは上からそれぞれ地上350m、263m、90mの3つの球の所にある。夜のライトアップも見所で、日にちや時間によっていくつかのパターンがある。

田子坊

租界時代に建てられた石庫門の集合住宅が残る古今交錯のトレンドエリア。1999年上海の著名なアーティストがアトリエを構えたのをきっかけに、国内外の若手アーティストがこの場所に集まるようになった。アートスポット、レストラン、雑貨店などが軒を連ねる。

黄浦江遊覧船クルーズ

黄浦江の外灘周辺を巡る約40分の遊覧船クルーズ。両岸に外灘のヨーロッパ風建物と、浦東の超高層ビル群の景色が楽しめる。ライトアップされた外灘や陸家嘴の夜景が見られるナイトクルーズは特におすすめ。

<名物料理>

上海蟹

正式名称は、チュウゴクモクスガニ。そのうち長江下流で捕獲されるものが上海蟹だが、中国では上海蟹とは言わず、「大闸蟹（ダーチャーシエ）」と呼ばれている。「九雌十雄」と言われ、たくさんの卵を抱く10月の雌、白子が最高の11月の雄が格別とされている。ただし環境汚染の影響から、多くを食することを戒める声もある。

小籠包

具に豚の挽肉を使い、薄力小麦粉で作った皮に包み蒸籠（せいろ）で蒸した料理。起源は1871年に中国の嘉定県南翔鎮（現・上海市嘉定区南翔鎮）の菓子屋「古猗

園」の店主黄明賢が売り出した「南翔大肉饅頭」にあると言われている。

葱油拌麵

上海でポピュラーな汁無し麵。茹で上げた麵を葱油でまぶしたもの。主に具は多めの油でじっくり炒めた青葱だけで、醤油のみのシンプルな味付け。

生煎

上海の庶民派グルメ。日本では焼き小籠包とも言われる、鉄板で蒸し焼きにした点心。小籠包によく似ているが、厚めでもちもちした皮とカリッとした焼き目が特徴。価格もリーズナブル。

(4) 指導者略歴

上海市委員会 書記 陳吉寧 (ちん・きつねい)

1964年2月生まれ

吉林省梨樹市出身、漢民族

現職：中国共産党中央政治局委員

上海市委員会 書記 1984年入党

学歴：英国帝国理工学院 (Imperial College London)

土木科環境システム分析専攻、工学博士

1981-1986年 清華大学土木環境エンジニア科環境エンジニア専攻
1986-1988年 同大学研究生 学士号取得
1988-1994年 英国帝国理工学院土木科などで研究。博士号取得
1994-1998年 同大学員助教研究員
1998-2006年 清華大学環境科学エンジニア科主任など
2006-2012年 同大学副校長、常務副校長 (正局長級)
2012-2015年 同大学校長 (副部長級)
2015-2017年 環境保護部 部長、同部党組書記
2017-2022年 北京市副市長、代理市長、市委員会副書記、
北京冬季オリンピック委員会党副書記、同委員会執行主席など
2022年10月- 現職

上海市委員会 書記 龔正 (きょう・せい)

1960年3月生まれ

江蘇省蘇州市出身、漢民族

現職：上海市委員会副書記、市政府党組書記、市長、

中国共産党 20回中央委員会委員 1985年入党

学歴：廈門大学財政金融科財政学専攻

経済学博士号取得。

1978-1982年 北京對外貿易学院對外貿易管理系海関管理専攻
1982-1993年 海関総署貨運監管司貨運監管処、弁公室正処長級秘書など
1993-1996年 天津海関 副関長、党組成員
1996-1997年 全国海関情報管理センター警備弁公室 副主任
1997-2001年 海関総署業務規範司司長など
2001-2003年 深圳海関 関長、党組書記
2003-2008年 海関総署 副署長、党組成員
2008-2015年 浙江省政府副省長、省政府党組副書記など
2015-2020年 山東省省長、省委員会書記など
2020年7月- 現職